



きくがわ 社協だより

No.97
2013年
3月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

東日本大震災から2年 私たちにできる防災対策



身体障害者福祉会では毎年防災訓練を実施しています

東日本大震災を教訓に、各地区等で災害対策に取り組んでいることと思います。今月号は、昨年3月に岩手県宮古市の障がい当事者と情報交換会を行った、当市の障がい当事者のみなさんに、その後、自身や団体として取り組んでいる防災対策についてお話していただきます。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865 (プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202
Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

「私たちにできる防災対策」

昨年3月19日、岩手県宮古市において障がい当事者同士の災害時における情報交換会を行いました。その後、6月16日に行った報告会の中で、それぞれ団体としての課題が出されました。

「身体障害者福祉会」

・近所との日頃の付き合い（自分の存在を明らかにしておく）

・避難訓練、可能な避難方法

・避難場所の確認

「手をつなぐ育成会」

・大規模災害における会としての対策

・普段からの事業所とのつながり

・福祉避難所の把握と移動手段

「Mネット東遠」

・定期的な非難訓練

・避難場所の決定と避難方法、避難経路の確認

・関係機関との普段からの情報交換

「ろうあ部」

・自分たちのできる備え

・地域防災訓練への参加

・市や地域の人たちからの支援

課題に対して会や個人として取り組んだことを教えてください。

沢崎 震災はいつどこで起きるかわかりません。一番大切なのは近所付き合いだと思います。自治会のいろいろな行事や会合に出て、自分はここにいますとアピールしようと会員に話しています。先日、身体障害者福祉会新年会の時にもそう話しました。行動するにも私たち身体障がい者は遅れてしまいます。だから、自分の存在を地域の皆さんに知ってもらうために、常に付き合いを持ち仲良くすることが一番大切だと思っています。私は、神社や公民館の掃除に積極的に参加しています。自治会にある防災機具も自治会の皆さんと一緒に使う訓練をしています。また、各自避難所の確認をしておくことも必要だと話しています。

服部 大規模災害における会としての対策として、組織体系、救助方法が課題としてあります。福祉施設や養護学校との接点をうまく繋ぐことによって、安否確認や救助ができるのではないかと宮古市から情報をいただきました。菊川市に照らし合わせてみ

ると、現在会員が80名ほどいます。会員が市内に点在している中で、どう結びつけていくかというのが、なかなか難しい部分があります。沢崎さんが言われたように、地元重視という形が一番効率のよい対策として考えられるのではないかと思います。民生委員児童委員の皆さんや自治会との接点を強くするためには、



手をつなぐ育成会 服部秀俊さん

普段からコミュニケーションを図り、障がい者の存在を知ってもらうことだと思います。手をつなぐ育成会では、救助方法をどうしてもなかなか行かないと思います。通常の連絡網でさえなかなか行き届かないところで、どんな対策ができるかというところが、原点は自治会に戻るということになります。地域で避難場所も決まっているし、防災訓練も各戸から出席していますが、班の会合での会話が最近途絶えていると思います。市民レベルで盛り上げていかないと、災害時の救助方法に結びついていかないと思います。

将来的には、市内をブロックくらいに分けて組織化して、会の連絡方法をつくるというのを考えていますが、自治会にこちらの情報提供をしていかなければ、手を差し伸べてもらえないと思います。会に事務所はないので、食料や生活支援物資は会には届きません。公的な場所に届くことを考えると自治会は重要だと思っています。

それから、通学や通勤方法が個人で違うため、学校や会社と個人、自治会と個人のラインが打ち出されてくると思います。

杉山 僕は個人的に防災対策を家でやっています。寝るところにライトを置いたり、物が倒れないようにテレビや棚の下に転倒予防マットを貼っています。でも心配なので、物が倒れない位置にベッドを置いています。

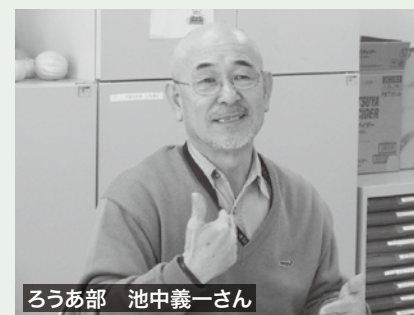
Mネット東遠で、定期的に防災訓練をしようと思案してみましたが、なかなかできていません。言い訳になりますが、忙しいこともあって繰り返し提案はしていません。家でも自治会の訓練にはたまに出

るくらいです。個人としての基本的な防災対策はしていますが、その他のことはやれていません。
高塚 各作業所で防災訓練を年に1〜2回しています。ちょうどいいことに、掛川市と御前崎市は、作業所があるところが避難場所になっています。利用者の皆さんにそこが避難場所であることをわかってもらう部分で確認をしていく必要があります。不安なのは、避難場所はあってもお薬がないことです。利用者も100人くらいいるので安否確認の部分で不安があります。ご家族なども話し合いをするのですが、なかなかよい答えが見つからず、解決しないままになっています。

近所や身近な方の協力はすごい力だと感じています。自分が自治会の防災訓練に参加してみてもわかりました。顔の見える付き合いをしていった方がよいという思いが強くなりました。作業所でも職員と地域の方の付き合いだけでなく、利用されている方と地域の方との関係がつかれるいいと思います。

池中 ろうあ者は耳が聞こえないので、目で見る情報が頼りです。ですので、暗くて見えない夜は情報を得ることが困難です。ろうあ部会員は、地域の防災訓練に積極的に参加するようになってきました。私の自治会では同じ班の中に、私が聞こえないことを知って、手話を学んでくれた方が2人います。その方が防災訓練の時には私のそばに来てくれて、手話と筆談を交えて情報提供してくれました。自治会長も私が聞こえないことを知っていて、手話が出来る人が私のそばにいるのを確認してから話を始めてくれますので、非常に安心しています。

一番怖いのは火事です。聞こえない私たちは寝ていたらわかりません。私は、窓ガラスを割って入って来て起こしてほしいと、近所の人をお願いしてあります。避難所での生活も、自分たちは聞こえないというのをアピールして手助けを頼んでいかないと、皆さんも手助けの方法がわからないと思います。自分たちで行動していかなくてはと思っています。それが



ろうあ部 池中義一さん

ら、災害に関する手話を載せたカレンダーを静岡県聴覚障害者協会で作りましたので、カレンダーを見て手話を覚えて私たちに教えていただけるように、ろうあ部みんなが隣近所に広める取り組みをしました。

もう一つ、東日本大震災で被災したろうあ者に語ってもらったことを掲載した冊子を、静岡県聴覚障害者協会が作りました。私たちはこの内容をしっかりと理解して、災害時にどのように行動したらよいのかを学ぶために、みんなで毎月1回少しづつ勉強会をしています。それから、菊川市としても障がい者防災マニュアルがあるとありますが、どこの市町も聞こえない人への対策はほんの少ししか載っていません。以前、このマニュアル冊子(※)が県内に発行されました。自治会に聞こえない人がいたら、こういった支援をしていただけたら有り難いという内容が載っています。3年くらい前に発行されました。ろうあ者自らが自治会長の家に持って行って、ぜひ読んで災害時には支援をお願いするという取り組みもしました。いざという時には、筆談でもよいので、ぜひ情報提供や交流をしていただきたいです。

市内で何かあった時に、同報無線が流れますよね？でも、私たちには聞こえません。ろうあ部で話し合つて市に要望を出しました。安全課から同報無線と同じ内容をファックスでもらえるようになりました。でも、いつも家にいる訳ではないので、留守中は情報が得られません。掛川市では携帯電話にメールで情報が流れるシステムがありますので、ろうあ部としてその要望も菊川市に出しています。災害対策について、ろうあ部として協議し、市にお願いするという努力もしています。

皆さんの取り組みを聞いて、新たな気づきや思ったことがあったらお話ください。

池中 災害直後には手話通訳者が来ることは困難なので、皆さんと同じように近所の方たちとの付き合いが大切だと強く思っています。

服部・杉山 知的障がい者や精神障がい者のマ

ニユアル冊子はないです。

沢崎 どこかで災害があった時には意識しているけれど、何事もなく日が過ぎていくと忘れてしまつから、常に忘れずに、マニュアル冊子も自治会でとっておいてくれるといいですね。

服部 先ほど杉山さんからお話があったように、各家庭で転倒防止など事前にできる対策に取り組みることが大切だと思います。今年の初めに静岡県防災センターに行った時に、職員の方が、第一の防衛策として各家庭でできる事前準備の大切さをお話されました。どれだけ備えたかが、自分の命を守る第一過程だということだと思います。私の住む潮海寺には光陽荘があります。毎年夏祭り、施設と自治会との交流を図っています。地元が一体となって施設をサポートしていける地域だと思います。

薬のことも困りますね。現実的な問題だと思います。

沢崎 薬を飲んでいる人は、お薬手帳を常に身につけて持っていないといけないですね。

池中 避難所の夜のことが一番心配です。何かお知らせがあったら、必ず紙に書いて貼り出してもらつとか、目で見てわかる方法の準備をしていただきたいです。

避難所にテレビが設置されると思います。「アイドラゴン」と言つて字幕が出る機械をつけていただければ、情報が得られ安心できます。ぜひ「アイドラゴン」をつけてもらいたいんです。

服部 菊川市だけでなく、全国で設置することを防災計画の中に義務づければよいと思いますよね。

池中 義務化されると本当にいいですね。すばらしい意見をありがとうございます。聞こえる人も聞こえない人も同じ人間として、情報を得る必要があるし、権利があります。

倒壊した家の下敷きになった時に、聞こえない私たちは人が近づいて来た足音がわからず助けを求めることができません。みんなで協議をして、笛を常に携帯しようということにしました。もう一つは、半分に「耳が聞こえません」、半分に「手話ができます」と書いてあるスカーフを、避難所で使おうということとです。防災グッズとして常持ちしていよう、あるいは行政や自治会に用意してもらおうと協議しました。避難所で聞こえない人だということ、皆さんに見てわかっていただく方法です。各避難所に用意

していたように、行政や自治会に働きかけていきます。笛や携帯電話を常に持っているといううな、自分たちでできる備えは自分たちでします。

服部 第一段階として、発見してもらつためには、笛と携帯ライトをセットで持っているといいですね。

杉山 携帯電話のアプリで笛の音が出るものがあればいいですね。そうすれば、たくさん物を携帯しなくて済みますよね。携帯電話会社に言えば作ってくれるんじゃないかな？

沢崎 携帯電話は便利だけど、災害直後は繋がらなくなりやすいですね。電池がすぐになくなってしまふ心配もあります。

池中 フェイスシートを知っていますか？災害が起こった後に、県外の手話通訳者が支援に来てくれます。その時に、ろうあ者個人の情報を記載したフェイスシートを手話通訳者に見ていただいて、理解した上で支援にあたってもらいます。静岡県聴覚障害者協会が統一した様式を決めました。それをろうあ者みんなが書いておこう、そして福祉行政に預けて、県外から支援に来てくれた手話通訳者に開示することについても相談しておこう、という取り組みも始めています。

(※)「災害時の聴覚障害者支援」静岡県聴覚障害者情報センター発行

それぞれの団体の取り組みを参考に、今後も防災への取り組みを継続していただきたいと思います。



身体障害者福祉会 沢崎敏明さん



Mネット東遠 杉山 光さん



Mネット東遠職員 高塚智己さん

笑顔、輝いてます ー第20回ー

● 仕事大好き、旅行大好き、これから資格にも挑戦します ●

Q. 今どのようなお仕事をしているか教えてください。

A. 社会福祉法人白翁会「光陽荘」に勤務していて4年目になります。場所は菊川市潮海寺にあります。私は雨の日は母に送ってもらいますが、それ以外は自転車で1時間かけて通勤しています。私の仕事の内容は、施設内の掃除を行っています。また作業活動では私は畑を担当しています。畑で玉ねぎやニンニク、さやえんどう、夢咲菜を栽培しています。今は、ジャガイモを植える準備をしています。体力のいる仕事ですが頑張っています。収穫した野菜は光陽荘で百円で販売しています。地域の人や職員の皆さんに買っていただいています。去年は栗が豊作で地域の皆さんから好評でした。20個入って百円でした。また近くに来た時にはぜひ買ってほしいと思います。

光陽荘で仕事をしていて楽しいことは、毎日利用者さんとコミュニケーションをとって楽しく過ごすことです。光陽荘で収穫した野菜を、利用者さんと一緒にきれいに袋詰めをして、販売して売れることも嬉しいです。大変なことは利用者さんがつまづかないように通路に物を置かないように気をつけています。利用者の皆さんは全員目が不自由なので、話をする中でも曖昧な言い方はしないように、言葉づかいをていねいにはっきり話すように心掛けています。

Q. 「手をつなぐ育成会」の本人部会の活動について教えてください。

A. 本人部会は男性が5名、女性が3名で現在活動しています。私は副代表をやっています。西部地区の本人部会にも年2回参加しています。部会ではみんなでどんなことをやりたいか企画します。みんなで楽しみたいので手紙を作成して、会員全員に送っています。会合は年間2～3回あります。行事の打合せも何回かやっています。

今まで企画して行ったところは、掛川城や龍尾神社に行ったり掛川グランドホテルのバイキングに行ったり、ららぽーとで映画鑑賞や買い物にも行きました。私は日本の映画が好きです。料理教室もやりました。その時はカレーを作ったりみんなで食べて美味しかったです。家でも時々料理を作ります。今度は本人部会の活動としてバーベキューやみんなで楽しめるものを企画したいと思います。

Q. これからの目標や、やってみたいことなどを教えてください。

A. 私の趣味は旅行です。毎月1回ツアー旅行に行っています。まだ海外旅行に行ったことがないので、次は海外へ行ってみたいと思います。去年は6月にディズニーランドとディズニーシーへ行ってディズニーランドホテルに泊まりました。9月には三日間かけて友達と沖縄に行きました。とても楽しかったです。2月には石川県の合掌造りを見学に行ってきます。4月はスカイツリーに行きます。スカイツリーは2回目ですが今から楽しみです。

これからの私の目標は、今ヘルパー2級の資格を持っているので、今度は1級の資格を取りたいと思っています。これから勉強頑張っていきたいと思います。もう一つの目標は、車の免許を持っていないので免許が取れるように頑張りたいです。



鈴木美智子さん(段平尾)

特定非営利活動法人 ベース・キャンプ

<就労継続支援B型事業所>

私たちベース・キャンプは「就労を目指すあなたを応援します」をキャッチフレーズに平成24年4月にスタートしたばかりの、新しい障害者支援施設です。ここでは、様々な障害や病気などのハンディキャップによって、しばらく職場を離れている方が、ともに働き、訓練を行っています。

場所は河城の山の上、一面の茶畑の中にある製茶会社のご協力で、社屋の2階に拠点を置き、緑茶・紅茶・コーヒー等の包装作業を行っています。民間企業の中に身をおき、社員の皆さんから指導を受けることで、利用者の皆さんは軽作業をしながら職場の雰囲気になれ、就労へ向けての基本的な態度や、好ましい人間関係を身に付けていきます。そして、ここに通うことで持続的な体力と生活習慣を養っています。他にも、仲間と取り組む企業見学や、施設外実習、余暇を楽しむレクリエーション等を通して、地域で生きていく力を伸ばしていく取り組みを行っています。

その一方、自立支援法の中で大きなウエイトを占める、就労支援への取り組みが、この地域で充実しているとは言えない状況があります。そこで私たちは、当事者にあった企業を探す、引き合わせる、お互いを理解しあう、末永い見守りを続けるために、ハローワークや福祉課、病院、相談支援センターなどの関係機関と連携し、私たちが障害者の社会参加の場を広げる活動を展開しています。

事業所名：就労継続支援B型事業所ベース・キャンプ

住 所：菊川市倉沢340 株式会社流通サービス内

電 話：090-2774-5951

メールアドレス：base.camp@orion.ocn.ne.jp

共に歩む仲間やボランティアを求めています。お問い合わせお待ちしております。

管理者 鈴木かおる



▲作業風景



▲作業風景



▲作業風景



▲レクボウリング大会

ひきこもり、不登校学習会



平成24年12月から平成25年2月の第3月曜日の午後、一般社団法人SCSカウンセリング研究所から講師をお招きし、「ひきこもりとは?正しく理解しよう」「根本にある家族文化～迷う家族に何が起きているのか?～」「当事者と向き合う～子どもとどう向き合うか 正しい関わり方～」をテーマに学習会を開催しました。ひきこもりの現状・支援のあり方、関わり方について詳しくお話しをいただき、参加者からは「事例を通してわかりやすく説明していただき、聞きやすく勉強になった」など多くの感想を頂きました。

菊川市民社会福祉大学

2月24日に「無縁社会」といわれる社会の中で、身寄りのない人への権利擁護も含めて、成年後見制度の推進に向けて菊川市に何が求められるかを市民の皆さんと考えました。大阪市立大大学院生活科学研究科の岩間伸之教授に「地域における権利擁護の推進と成年後見制度」の基調講演や、社会福祉協議会と地域包括支援センターからは、「成年後見制度の調査結果」や「権利擁護業務の報告」を行いました。



地域福祉推進への市長への提言

2月28日、「菊川市における『地域福祉推進』への提言」検証報告書を、菊川市社会福祉協議会鶴田浩会長と花村晴弘副会長、「菊川市における地域福祉実現研究会」の板倉幸夫委員長らが市役所を訪れ、太田順一市長に手渡しました。

今回の報告書は、平成22年度市に提出した「菊川市における『地域福祉推進』への提言」について、これまでの7項目の取り組み状況を「菊川市における地域福祉実現研究会」で検証したものです。

- 1.地域福祉への理解促進(意識啓発)を促すため「市民福祉教育」への取り組み
- 2.「孤立・無縁」の問題に防災・減災活動を通じての取り組み
- 3.高齢者・障害者の孤立・孤独を防ぐ
- 4.交通弱者への移動保障について
- 5.民生委員児童委員の活動支援について
- 6.「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み
- 7.集合住宅入居者への地域参加の働きかけと障害者の地域移行の促進

以上7項目について、これまでの取り組みや研究会で出された意見や課題が掲載されています。

鶴田会長は「社会福祉協議会として取り組むべきことは、社協としてしっかり取り組んでいきます。市としても、地域福祉推進に引き続き協力をお願いしたい」と市長に伝えました。



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つのわ)

様々な活動があります 菊川市内のボランティア

「『ボランティア』ってよく聞けけれど、身近なところでどんな活動が行われているのだろう?」「参加してみたいけれどちょっと敷居が高いなあ。」と、そんなあなたは是非一歩を踏み出してみましょう。

・ボランティアセンター登録ボランティアグループ

活動内容や活動上関わる方(対象者)、活動範囲も地区に限られたものから市内全域、市外にまで広がっています。

46グループ 延約1,000人

音訳・手話・点字・子育てサロン・国際交流・環境美化など

・学校支援ボランティア(教育委員会社会教育課が窓口)

地域(学区)住民や保護者などに呼び掛けて、市内小中学校では全校で活動が展開されています。

読み聞かせボランティア、図書室整備ボランティアなど

・施設でのボランティア活動

福祉施設の中で活動を行い、施設種別により、活動内容が異なります。

例:お話し相手、余暇支援、外出支援など

・趣味を活かしたボランティア

趣味やお教室の内容を活かし、ボランティア活動を行っています。

音楽・演奏系が多く、施設のお楽しみタイムや地域の高齢者サロンなどの活動への参加が見られます。

・組織や団体の活動の一環として、ボランティア活動を行うもの

団体などが活動の一つとしてボランティア活動を取り入れ、その所属の会員がボランティア活動に参加します。

・地域でのボランティア活動

特定の地域の中で、地域住民により地域住民対象に行われている活動。

高齢者サロン・配食サービス・文化伝承など

・登録ボランティア

ボランティアグループや施設など定期的な活動に属さず、ニーズに応じて活動する。

例:イベント助っ人ボランティアなど

「あっ、こんな活動があったんだ!」「あら、あなたもボランティア活動していたの?」すてきな出会いがボランティア活動を通して待っているかもしれません。



「ボランティアグループから～自立生活センターきくがわ～」

「自立生活センターきくがわ」は、障がい者の地域での生活支援、相談活動を行っているグループです。活動費捻出のために書き損じハガキを集めています。市内の各地区センター、プラザけやき(社会福祉協議会窓口)に収集箱を設置しています。年賀状等の書き損じハガキがありましたら、ぜひご協力ください。

個人登録ボランティア
募集

はじめませんか?ボランティア活動

「空いている時間に出来るボランティア活動はないか・何かやってみたい」とお考えの方

ボランティア
センターに
相談・登録

→
いろいろな
ニーズと調整

→
ボランティア
センターから
連絡を受け
活動への参加の
可否を決定

→
活動



ボランティアセンター土日開所は、開所方法や内容等の検討のため、一旦閉所させていただきます。

受賞おめでとうございます

2月11日(月・祝)、菊川文化会館アエルにおいて、社会福祉の発展に功績のあった方々や地域福祉の増進に寄与された方々に、表彰状並びに感謝状を贈呈しました。

当日の司会は、菊川南陵高校1年 ^{はなしろ かいと}花城海斗さんと川島佳明さん ^{かわしま よしあき}にお願いしました。

菊川市社会福祉協議会会長表彰 被表彰者(11名 7団体)

特定非営利活動法人ハートあんどハート菊川

・山田 ^{やまだ} いち 様

東遠学園組合

・松本 ^{まつもと} 一秀 様

社会福祉法人白翁会

・藤野 ^{ふしの} 弘子 様

社会福祉法人和松会

・本間 ^{ほんま} 直人 様

・沖 ^{おき} 郁恵 様

・早川 ^{はやかわ} 啓子 様

社会福祉法人愛育会

・太田 ^{おおた} 洋子 様

傾聴お話しボランティア 様

もみじの会 様

おいでよお平川地域サポーター 様

スリーハートクラブ 様

友田有志会 様

福々会 様

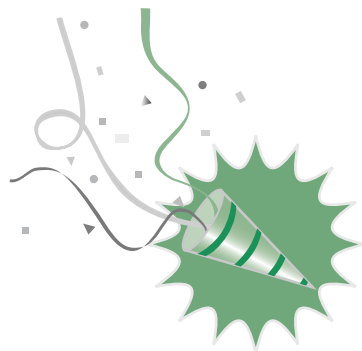
横地いきいきサロン 様

・小杉 ^{こすぎ} 久免 様

・市村 ^{いちむら} 孔元 様

・油井 ^{ゆい} 雅子 様

・澁谷留美子 様



写真撮影：デジカメボランティア「おっ撮りカメラ」

菊川市社会福祉協議会会長感謝状贈呈 被贈呈者(2団体2法人)

(有)加藤軽合金 様 静岡福祉協議会 様 仏教会 様 (株)ブライトネス 様

静岡県共同募金会会長感謝状贈呈 被贈呈者(2団体)

明るい社会づくり運動菊川地区協議会 様 連合静岡東遠地域協議会 様



福祉総合相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

会場 プラザけやき

心配ごと相談

日時 4月 1日(月) 9:00～12:00

4月15日(月) 13:00～16:00

会場 プラザけやき

日時 4月 5日(金) 13:00～16:00

4月22日(月) 9:00～12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 4月 5日(金) 18:00～21:00
(受付20:00まで)

4月21日(日) 9:00～12:00
(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談

日時 4月 1日(月) 13:00～16:00

4月15日(月) 13:00～16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233